

ふれあい

令和3年6月 第420号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)
事務局：大代地区公民館
TEL:022-364-8442
FAX:022-364-8453

【掲載目次】

- 山茶花大学が開校しました 1
- 聖火ランナーを応援しよう 2
- 東日本大震災から10年 ⑤ 1

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、各種事業等が中止されていることから、『ふれあい』におきましても事業告知等を削減して、今月号も規模を縮小いたします。

山茶花大学が開校しました

令和3年度の大代地区公民館事業がスタートしました。最初の講座として、高齢者教育事業「山茶花大学」を5月12日に実施しました。

山茶花大学は、毎年度、全10回の講座を5月から翌年2月にかけて実施していきますが、昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、前半に予定していた5月から9月までの前期5回が中止となつてしまいました。現在も新型コロナウイルスの感染拡大が宮城県内も含め全国で続き、終息の見通しが立っていない中ではあります。感染防止対策を施し、予定通りの実施となりました。

1回目の講座は、司法書士の佐藤忠之先生を迎えて、相続の講話を行いました。遺産の相続に関する相続順位や遺言書

の重要性など受講者の質問も交えて行いました。



専門的な講座ではありませんでしたが、非常にわかりやすい説明でした。

山茶花大学を含め、令和3年度も新型コロナウイルス対策を万全に事業を実施して参りますので、多くの方のご参加をお待ちしています。講座情報は、広報『ふれあい』やチラシ、HPをご覧ください。

東日本大震災から10年 ⑤

大代地区にも多大な被害をもたらした東日本大震災から、今年で10年を迎えました。

今月は、大代西区の星町内会長からのお話を基に、震災を振り返ります。

東日本大震災から10年を迎えました。当時私は、塩竈市の教育委員会に勤めていました。市役所で開かれていた会議に参加していた時、これまでに経験したことのない大きな揺れが3分ほど続き、慌てて職場へ戻りました。私が勤務していた建物は古かったので倒壊してしまっただけではないかと思いました。

職場へ戻った後は、各学校と子どもたちや教職員の安否、校舎の被害状況の確認に追われました。幸いにも、この時間帯には多くの子どもたちが学校にいたので、ほとんどの子どもたちの無事を確認することができました。校舎の方は壁の崩落やガラスの破損など大きな被害がありました。また、地震直後から多くの市民の方々が学校へ避難してきました。教職員は子どもたちへの対応と避難者への対応の二つに追われました。このような状況が2〜3日続きました。

電話が通じなくなると、学校との連絡は、徒歩になりました。保護者へ引き渡された子どもたちの中には、遠くへ避難し

た子どももおり、正確な安否が確認できたのは、震災から5日後でした。また、教職員についても育児休業中の職員の安否が分かったのは実に3週間後でした。安否確認の大変さを思い知らされました。今後、私たちも避難しなければならぬ状況になった時には、家族と連絡が取れるようにしておかなければならないことをこの時に学びました。

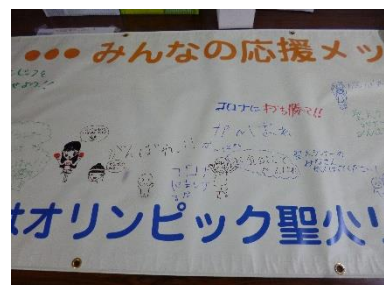
次回も、大代西区の星町内会長からのお話を基に震災を振り返りながら、災害とどう向き合い、どのようなことに気を付ける必要があるのかを考えていきます。

聖火ランナーを応援しよう

5月20日に、東京オリンピックの聖火ランナーを応援するための横断幕が大代地区公民館に設置され、来館された方にメッセージを書いていただきました。

多賀城市では、6月20日(日)に、聖火リレーが通過予定で、聖火リレー当日、

コース沿道に応援メッセージ入りの横断幕を設置します。



大代地区公民館での横断幕へのメッセージ記入は5月30日(日)までとなっていますが、多賀城市の他施設でも横断幕へのメッセージの記入が左記の日程でできますのでご案内いたします。

記

○多賀城市総合体育館

5月20日(木)〜6月11日(金)まで

○多賀城市立図書館

5月21日(金)〜6月7日(月)まで

○山王地区公民館

6月3日(木)〜6月13日(日)まで